

学 園 通 信



No. 242

九里学園高等学校 P T A

2010. 3. 1 発行



夢に向かって! 卒業おめでとう



「家訓」をつくろう

学園長 九里茂三

近頃のテレビは、私にはもうどうにもいやな思いばかりなのだが、皆様は如何でしょうか。

簡単に人を刺し殺し、金と権力のなりふりかまわぬ争いなど。それを大声でわめき立てる報道陣さえいやらしく思えてくる。

いつの世にもこうした事はあったであろうが、未来に生きる若者たちにこんな大人の姿は見せたくないもの。近頃は山村留学とか、それこそ不便極まりない農村に、わざわざ子を託す親も居ると聞く。

若い時、それこそ感性豊かな時に、農村の年寄りなどの素朴な愛を受けとめる子は、その素朴な思いを終生身につけるに違いない。

然し、それは特殊な例でしかないであろう。私は数年前、幼稚園の父母たちに「めいめいの家訓をつくってみてはどうか」と勧め、それを「虹の詩まつり」(幼稚園親子の文化祭)に発表することにした。期待通りの出品で、近頃の親らしく、家族の写真なども入れた念入りのものが多かった。嬉しかった。

私は「家訓と言えばしかめつらしくなるといけない。一家中で相談し合って容易にできるもの、うまくすれば褒め、ずるく逃げたらきびしく叱る。それが親子共々にだ」と申した

のであった。事は成功し、会津の日新館の「じゅうおきて 什の掟」の話なども出、地域の親たちの連帯についての話しまで発展した。

いつか読んで話しを聞いた木村治美氏(臨教審委員・英文学者)も、不登校気味の我が子の様子を見ていた近所の大人が「そんな姿ではだめだ。胸を張れ、青空を仰げ」と忠告してくれ、見事に立ち直った体験を、ずいぶん後になつて我が子から聞いたと話された事であった。

親同士が、未来の我が子たちと一緒に考えてくれる事のすばらしさこそ最も有効なのだと思つた。私も、隣のばあさんやおねえさんに言われたやさしい言葉を忘れない。私はこの教育都市米沢をそんなまちにできないかと、特に近頃思うことしきりである。





—責任を果たせる大人に—

学校長 九里 廣志

私はいつも「みんなが社会人になるのだ。であれば、途中で教育を投げ出すわけにはいかない。大変な子供こそしっかりと教育しなければならぬのではないか。」と先生たちに訴え、指導をお願いしている。先生たちはさまざまな素材や方法を駆使し、生徒の能力の開発に努力してくださっている。「面倒見の良い学校」という評価は、その陰に先生方の努力と忍耐があることを私は知っている。それでも、残念ながら途中で学校を去る生徒がいなわけではない。私たちは大きな敗北感を持って、その子供と別れることがあるのだ。

昨年のある日、学校に電話が入った。三年の途中で辞めていった生徒からである。家庭の経済的事情なども背景にあったが、もう少しなのだから頑張って卒業しようと励ましても、頑なにやめると言って聞かなかった生徒である。『どうしても高校の卒業資格をとりたい。』とのこと、会って話をすることにした。

結婚をしてもう子供もいるという。今は旦那さんと二人で働いて、どうにか生活ができる程度だが、今まで支払ってきたローンが終わるので、経済的に少し余裕ができるからという。しかしそれ以上に、「寝たきりのおじいちゃんを看護をしてあげたいので、介護の資格を取りたい。そのためにも高校卒業の資格を取って：。」とのこと。応援をするから頑張っ

てほしいと言って別れた。

在校時に滞ってしまった授業料を支払うと言って、毎月銀行口座に少しずつ振り込んでくれている。「振り込みましたから確認お願いします。」とメールで知らせてくれる。一ヶ月に一度、彼女とのホッとするコミュニケーションの時である。「今月はどうしても余裕が無くて振り込めません。すみません。来月は振り込めるよう努力します。」という時もあったが、間違えなく連絡が来る。「余裕のある時でいいよ。身体に気をつけてね。」と返信しながら温かい気持ちになる。自分の責任をしっかりと持っている子だったから、親が授業料を支払えないことを辛く思い、退学の道を選んだのだと思うとかわいそうになる。

社会に出るということは、こういう『責任を果たすこと』だとつくづく思う。今、権利は主張するが、責任を果たさな大人が多くなっていることを思うと、すがすがしさを感じる。残念ながらおじいさんは彼女の介護を受けずに、昨秋亡くなったという。しかし今、自らの手で高校資格獲得のため高校転入手続きに入っている彼女がいる。心からのエールを送りたい。

卒業おめでとう

～ 夢と未来に 羽ばたけ ～

卒業おめでとう！

第三学年主任 福崎 正史



三年生の皆さん、卒業おめでとう！
三学年担任団十二名、心よりお祝いいたします。最終学年が始まる昨年の春、皆さんには「悔いのない一年間に！」というメッセージと「景気が後退し、大変な年になるかもしれないけれど、逆境を乗り越えるたくましい力をつけよう」というお願いをいたしました。いかがだったでしょうか。一人ひとり振り返ってみて頂ければ…と思います。

さて、九里学園での三学年間で会得した「礼」と「譲」の精神は、今後あなた方が社会生活を送る上で大切な指針となるものと強く思います。どうすべきか迷いが生じた時や困難に出会ったときにはこの「礼」と「譲」を思い出してください。人生の様々な場面で「礼」と「譲」を実践していけば、まちがいないの無い心ゆたかな生活が待っていると思います。では、皆さんお元気で！

卒業おめでとう！



学年付 大木 善子

この三年間で、皆さんは多くのことを体験し、又多くの困難や試練にも遭遇して人間的に大きく成長できたと思います。でもこれから生きていこうとする社会は、複雑で厳しく戸惑いや不安を感じる場面があるかと思いますが、自分の考えや価値観をしっかりと持ち、周りの人と調和し協力しながら生きていくって欲しいと思います。どんな時も笑顔だけは忘れずに！



信頼される人になって下さい。
学年付 豊嶋 達也

ご卒業おめでとうございます。皆さんの入学当時のことを思い返す時、月日の流れの早さを感じます。一人ひとりの姿を拝見しながら、「自分の潜在能力に気づくことによりまだまだ伸びる！」と思っております。これからの人生の中で、自分の内面を磨き、向上心を持って力強く前進して行って下さい。そして誰からも信頼される人になって下さい。

「無用の用」の勧め



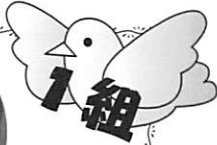
学年付 鈴木 精

「無用の用」という老子の言葉がある。人はすぐに形があり、目に見えることばかりを追いかけ、それがいいことに不満を言い、目に見える効果ばかりを求め、無駄なことを嫌がる。しかし、形あるものに真に価値を与えているものは目に見えないものだ。形あるもの、結果に表れたことを支え、価値つけている一見「無」に思えることを大切にしよう。



新たなスタートを！
学年付 長岡 直浩

毎日、兄弟のように友情を深めて過ごした学園を離れても、これからはあなたたちを育んでくれた多くの方々の「教え」をかみ締めながら、たくましく賢明に自分で「素晴らしい生活や環境」を築き上げて行って下さい。どうしようもない暗いニュースもあります。が、ご自身の理想をしっかりと掲げて、どんな困難も乗り越えて行って下さい。ご活躍を祈っています。



これからがスタート！

担任 高橋左和明



三年生諸君、卒業おめでとう。いよいよこれから

ら社会という大海に出航するのですね。人生の航海には、嵐や高波はつきものです。しかし、必死に耐えれば、やがて雲はひき、青い空と海が航海を後押ししてくれるでしょう。

「進むべき 道は一筋 世のため にくぐべからず 誤魔かすべからず」

これからの長い人生、人は一人では生きてはいけません。誰かのために、自分の時間を少しでもいので捧げてあげましょう。嘘のない無償の奉仕は後で大きな財産として、自分に帰ってきます。君たちの未来に幸あれ。



九里での三年間

遠藤 康太



九里に入学して三年が経ちました。今、改めて三年は

短いと感じています。私の三年間は野球漬けの日々でした。野球部では様々なことを学び、経験してきました。これから大学へ進学しますが、九里で学んだことを忘れずに、これからの生活にも生かして、頑張っていきたいと思えます。

私の高校生活

矢木慎乃亮



私は高校生活三年間で部活動に力をいれてきました。

部活動では様々な事を学び、そして色々な事を教えてもらいました。

これからは、そのことを十分に活かして、私が自分自身で信じた道を行き夢を現実にしたいと思っています。

私の三年間

神田 倫



九里学園での生活は、私にとって何事にもかえがたいものでした。入学以来、私は、生徒会役員や学園祭実行委員として、そして何よりもこの学校の一員として沢山のことを学びました。この学んだことを将来に生かし楽しく生きていきたいと思えます。九里の先生方三年間ありがとうございました。

九里の先生方三年間ありがとうございました。





みんなの力



担任
遠藤 健

卒業おめでとう。

ここから先は、各々が大学や専門学校に進学したり、就職したりして、自分の生き方を具体的に「形造る」ことになる。そこで今みんなの大きな武器を考えてみた。それは「若さ」。若いっていうのは、それだけで価値があること。若いからこそできることがある。若いからこそ、少々の無茶ができるし、その無茶で奇跡が起きることもある。若いうちに、皆さんの努力と皆さんの貴重な経験をすべし！



九里での三年間

外山 博規



九里での三年間はとても充実した三年間でした。特

に部活動では陸上部の部長をやらせていただきインターハイに出場することができました。たくさんの方々の支えがあったからこそその結果だったと思います。九里で得たたくさんさんの経験を大事にしていきたいです。

思い出

長谷川 渉



私の思い出は、ほとんどが部活の野球です。三年生の七

月まで毎日のように野球に明け暮れていました。部活が終わってからも友達との思い出をたくさんつくりました。就職をすれば友達とは離れ離れになり思い出をつくる機会は減ります。思い出をたくさんつくれるのは今なので今までつくった思い出を大切にしたいです。

三年間の部活で学べたこと

情野 裕作



私は、三年間の部活でたくさんさんの経験をすることが

できました。中でも部長として部員をどのようにして引張っていくのかや、一つの目標を達成した時の達成感などの喜びを知ることができました。この経験を生かし、今後の活動や生活の場で発揮していきたいと思います。





One step ahead



担任
佐藤 健太

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんが一年生の時から、担任や授業などで共に三年間を過ごしてきました。今の私の心には無事授業を終えられた達成感があり、皆が去ってしまう寂しい気持ちもあります。これから皆さんが出ていく世の中では、厳しいことや辛いこともあるでしょう。そんな時は先生方の顔や言葉を思い出し、勇気を持って乗り越えていくって欲しいと思います。ナルケマーレバンガ！カッピカッピ！



十六・十七・十八

近野 桃子



私にとつての三年間は、いつも友達に囲まれ、充実

していました。

クラスのみんなとは、日常生活や行事を通して絆を深めることができました。学年のみんなとは、授業や行事で沢山の人と仲良くなれました。

健太クラス最高！

三年間、私たちを支えていただきありがとうございます。

自分を鍛えた部活

鈴木 菜穂



私は三年間吹奏楽部に所属し、「自律」ということを

学びました。

先生からの「常に自分に負荷のかかる練習が大切」という言葉をモットーに、毎日練習をしてきました。そして確実にその努力は実を結び、技術的にも精神的にも成長できました。

部活動を通して培った、自分に厳しく妥協しない気持ちをこれからもずっと大切にしていきたいです。

充実した高校生活

清野ちさと



私が、三年間を過ごした高校生活は毎日が充実していました。

学校行事であるクラスマッチや九里祭、体育祭と皆で団結出来たり、日々の高校生活を仲間と過ごせて本当に楽しく、居心地が良かったです。皆とだったからこそ沢山の思い出が出来たと思います。私にとつて楽しい高校生活の思い出となりました。





九里を卒業!!



担任

長谷川和美

三年生のみなさん、卒業おめでとうございます。この三年間の九里での生活は、山あり谷ありでした。みんなの笑顔も沢山見ることができました。私も三年間、みんなと共に過ごした日々は、とても充実したものでした。大きな声を出して、よく笑い、よく怒りました。今日のこの日を迎えられること、とても嬉しく思います。九里で出会えたこの仲間が、一生の友となることでしょう。これからは自分の意志でそれぞれの道で自分らしく生きて下さい。みんなの幸せを願っています。

三年四組の

みんな、素敵な思い出沢山できました。ありがとうございます。



九里での三年間

佐野比奈子



九里で過ごした三年間は毎日がとても充実していました。

勉強や部活、行事などに一生懸命取り組んだり、九里でしか出来ない事をたくさん経験させて頂きました。

礼と譲の精神や、部活で学んだたくさんの事を、卒業してからの自分の人生に活かしていきたいと思います。三年間ありがとうございました。

最高の三年間

須貝 沙織



私は、三年間恵まれた環境の中で勉強、部活動に励

むことができました。九里学園に入学していなかったら充実した三年間にはならなかったと思います。沢山の先生方に支えて頂き、入学当初より成長できました。辛い時もありましたが、良い思い出もあ

り最高の三年間でした。先生方、友人達に心から感謝しています。

たくさんの人へ感謝

高橋 理紗



私は、三年間の九里学園での生活でたくさんのお事を

学びました。

吹奏楽部に入部し、仲間の存在の大切さを学びました。

また、進路ではたくさんのお先生に支えていただき、専門学校への進学が決まりました。家族や友達からこそ、今の自分が居るんだと思っています。九里学園の卒業生であることを誇りに、これから夢に向けてがんばっていきます。





「良い便りを待っています」



担任
佐藤 由美

今思うと、本当に短かった三年間でしたね。九里学園高等学校で過ごした学校生活は、楽しく充実した毎日でしたか？小中学校とは違い、広い地域から集まった友人達との関わりから、多くのことを学んだのではないのでしょうか。五組の皆さんは就職と専修学校に進まれるわけですが、今以上に活躍されることを願っています。

御卒業、本当におめでとうございませう。これからも、皆さんからの、良い便りをたのしみに過ごしたいと思っています。



礼と譲の精神

蔵田 泉



今から三年前、希望と不安を胸に入学し、早いもの

で卒業という学年になりました。この学校では、様々な資格へ挑戦したり、少人数での授業などから、大きく成長することが出来ました。また、クラスのみんなや先生方の優しさに触れ、礼や譲も学ぶ事ができました。この学校に入学出来て本当に良かったです。

ありがとうございました。

佐藤 麻衣



時が過ぎるのはとても早いことだと思えます。その

中で多くの人と関わり、とても大切な事を学びました。それは人思いやる気持ちです。私は沢山の経験を積み重ねながら思いやりがどんなに大切な事か知ることができました。この事を意識し次の道へ歩んでいきます。先生方や友達、

クラスの皆さんに心の底から感謝します。

一期一会

鈴木 美穂



私が九里学園に入学してから三年間はとても充実した高校生活でした。「卒業」という言葉を聞くとあつという間だったなあと感じています。九里学園での三年間はいろんな思い出があります。みんなと笑ったり、時には泣いたり、みんなと出会えなければ私はこんなに大きく成長することができなかったと思います。

ありがとうございました。





自信を持って進め



担任

原田 隆弘

卒業おめでとうございます。これからの人生で大切にしてもらいたいこと。社会に出る君たちは行動範囲が広がります。視野が広がります。ジャンルを問わずいろいろな経験を積んでください。そして、「これだ!」と思ったことに情熱を注いでください。失敗しても、挫折しても何度でもチャレンジ!きつとどこかに喜びや達成感がある。

それがきつとおおきな自信につながっていくと思います。

何事も情熱が大切です。頑張れ!



友達がいたから

我妻 朋美



私にとって友達とは、なくてはならない存在であり、かけがえない存在です。この九里学園に入学し、できた友達は家族と同じくらい大切な仲間です。出会えたことを誇りに思い、私はこの九里学園の友達が一生の宝物です。みんな離ればなれになるけれど、離れていても深い絆で結ばれているから大丈夫だよ?みんな大好き♡

心の底からありがとう

佐藤 秀子



九里学園で教えていただいた礼と譲の精神は、私の学校生活にすごく影響を与えてくれました。

そしてこれからの人生にこのことを活かしていきたいと思います。九里での三年間で色々なことを学び、成長してきました。これも先

生方や友人の支えがあったからです。本当に感謝しています。ありがとうございました。

高校生活のページ

渡部 茜



四月七日の入学から三年がたち卒業までの毎日が短く感じます。

三回のクラス替えがあり、沢山の友達と出会いました。その仲間と協力し合ったクラスマッチや九里祭、体育祭は私の忘れられない思い出の一つであり、仲間がいたからできた事だと思います。

九里で学び仲間と過ごした三年間は私の宝物です。





「もっと・もっとの
気持ちで」



担任
町田 悦子

三年生の皆さん、卒業おめでとう
ございます。

皆さんは、国語の授業で「私が一番輝いたとき」と言う題で作文を書きましたね。スツと書けた人もいれば、なかなか書けずに苦心した人とさまざまでした。そのように、これからの毎日山あり谷ありで、思うように行くことばかりではありません。そんな時、九里の「礼・讓」を一つの指針にして、今の自分をもっともっと輝かせてください。



成長、充実した三年間

伊藤 将太



私は、学校生活を通して皆さんのことを学ぶことが

出来ました。

部活動では、すばらしい伝統・

指導者を有する陸上競技部で活動してきたことを誇りに思います。学業でも、日々の学習を積み重ね数多くのことを身に付けました。

九里学園で得たことを、今後へ活かしていきたいと思えます。三年間ありがとうございました。

七組で過ごした三年間

松野 京子



十三人の仲間と
過ごした三年間は
あつという間でした。

少ない人数ながらもお互いに切磋琢磨をして、学習面でも人としても大きく成長できたと思えます。辛いことや苦しいこともこのクラスだったから乗り越えられました。これからはそれぞれ別の道を歩むこととなりますが、九里で

の思い出を胸に頑張りたいと思えます。

七組の三年間

色摩 友佳



私たちのクラスは担任の町田先生のもと、三年間個

性的なメンバーで学校生活を過ごしました。特に思い出に残ったのはハワイ研修です。短い期間でしたが海外の文化と触れ合い、いろいろなことを感じました。そしてクラスの団結もさらに深まりました。高校生活での体験を生かして、それぞれの夢に向かって頑張っていきます。



卒業おめでとう！

保護者からのメッセージ

叶わなかった「甲子園」(目標)

一組保護者 齋藤 正之

皆さん、それぞれ目標を持って、高校生活を過ごして来たと思じています。たとえ自分が目標にして来た事が達成できなかったとしてもそれに向かって三年間努力して来た事がすごい事なのです。長い人生に於いて、必ず生きてくるはずです。九里学園で仲間と共に過ごした日々を心に刻み、更なる飛躍を期待します。卒業おめでとう。

夢に向かって

二組保護者 齋藤 晋

早いもので、卒業ですね!!これから皆さんは、大きな一歩を踏み出します。いろんな夢や希望を持つている所でしょう。本気ですればかならず夢はかないます。だからどんな時も、あきらめないでチャレンジして下さい。いつか皆さんが社会で輝いている姿を楽しみにしています。本当に卒業おめでとうございます。

回想

三組保護者 坂野美希子

「吹奏楽を続けたい」という娘の希望で九里学園に入学して三年、一生の宝になるであろう多くの仲間との出会い。大好きな音楽に触れる毎日の中で得た多くの事は、これから自分の夢への実現に進んでいく中で、きつと心の支えになる事でしょう。これからは、一人の大人として、同じ女性として、あなたと歩んでいきたいと願う。

卒業おめでとう

四組保護者 平 廣信

三年四組の三十七名の皆さん!ご卒業おめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

卒業するにあたっては、いろいろと希望やら不安やらがあるかと思えます。しかし、この希望と不安は、可能性と若さと表裏一体をなすものですが、努力をし続ける事で、やがて喜びと充実感に変わります。皆さんの船出に幸多かれ!!

素敵な出逢い

五組保護者 鈴木百合子

ご卒業おめでとうございます。温かく見守り時には厳しく御指導下さった先生方や楽しい時悲しい時共に喜び合ったり励まし合った友人達との出逢い。人生において高校生活での出逢いはとても貴重な宝物です。それぞれの道へと進んでも、九里学園での三年間の素敵な思い出を胸に頑張ってほしいと思います。応援しています。

嘘の言葉

六組保護者 我妻 幸子

光陰矢のごとし:「高校生活が本当に三年間あったのか?」と疑う程短く感じられました。でも人生で一番輝いている所にいるあなた達は、時間が短いなんて感じる暇がない位に社会勉強をして、九里学園で学んだ事を忘れず、家庭で口うるさく言われた事を思い出して、大きく羽ばたいて下さい。卒業、おめでとうございます。

卒業おめでとう

七組保護者 長谷川昭子

ある朝「この制服もあと少ししか着られないんだよね。」と言う娘の言葉から、九里の制服を着る事に誇りを持って、毎日通学していったんだなあと、改めて感じました。三年間お世話になった多くの先生方、笑顔で接してくれた友達、本当に感謝、感謝です。そして頑張った娘に大きな拍手とありがとうを贈ります。卒業おめでとう。



親子で育む 支部活動

テーブルマナーで学んだこと

第三支部長 加藤 彰一

私が、九里第三支部長になって、活動をあまり出来ないもので、申し訳ないと反省しています。それでも先日、テーブルマナーを開きました。十二月六日金剛閣に集まり、三階のレストランに三〇人ほど行いました。

初めは、緊張していたのか、あ

まり話もなく静かに説明を聞きながら食べていたようでしたが、途中からは、楽しく話も弾んでいたようで、開催を企画して良かったと思いました。今の子供の傾向として人見知りがあるのかと思います。打ち解けるまでの時間がかかり、私から観ると「何を考えているか」となりかねません。が一人一人は一歩ずつ大人に近づいていることに驚かされます。

支部の活動について

川西支部長 坂野 成昭

今年度は、二つの事業を行いました。

一つ目は、教育懇親会です。九里校長先生並びに熊澤進路指導課長をお招きし、三年生の進路の状況や進路指導の講話を頂きました。これから進路を決める生徒たちの参考となる大変有意義なお話でした。

二つ目は、親子奉仕活動です。十二月に羽前小松駅のイルミネーション装飾作業のお手伝いをしました。思い出に残る新しい取り組み

みとして企画したものです。クリスマスツリーの装飾を任せられたり、点灯式では男子生徒と保護者が甲冑姿で登場したり、日頃出来ない楽しい活動でした。来年度は多くの方に気軽に参加して頂きたいと思います。

懇親の輪

南原支部長 湖山 真

十一月に「学校長を囲んでの懇親会」を行いました。当初、学校長の講話を考えておりましたが学校長と保護者をもっと親しく話し合いが出来る場をと思い懇親会を実施しました。学校長とごづくばらんに話が出来たと保護者の方々も満足していただきました。我々保護者が学校に対しての期待や思い、又学校長が考えておられる思いがこういう場で理解し合う事が出来たと思っています。

二月中旬に「三年生を送る会」を実施しました。ボーリング大会後食事会を行い記念品にシャチハタ印がセットになっている印鑑を贈りました。大人として自覚し、

使える物とっています。今後共、支部を活発にやっています。御協力をお願いします。

駅舎清掃・共に励む！

飯豊・小国支部長 佐藤 一幸

毎年恒例となっている利用駅の玄関口に今年も植栽を行ったプラントアを計十二個、四つの駅に配置して、それぞれ一週間交替の水やり作業を続けました。また、小国駅はホームの花壇にも色とりどりの花を植えました。

もう一つの恒例活動は駅舎清掃で、親子で共に早朝より行う清掃は、七月と十二月の二回ガラス磨き、クモの巣取りトイレ清掃と、全員が分担して手際よく行いました。特に十二月は年末を控えて大掃除の意味もあり駅員の方からも大変感謝されました。

日ごろお世話になっている駅を感謝の気持ちで清掃することは、親子にとって本当に得難い貴重な時間であったと感じていますし、今後も続けて行きたいものと考えています。

平成二十一年度 第三学年褒賞受賞者

() 内の数字はクラス名

学習活動優秀賞

- 安達 豊(1) 伊藤 貴紘(1)
- 加藤 健斗(1) 佐藤 隼(1)
- 鈴木 一史(1) 色摩 貴大(1)
- 安達 美穂(3) 安部 采花(3)
- 梅津 亜希(3) 栗林 美緒(3)
- 後藤 亜希(3) 後藤 璃帆(3)
- 今間 晶子(3) 鳥貫 蓮(3)
- 鈴木 菜穂(3) 平間 綾佳(3)
- 山吉 由希子(3) 青木 みのり(4)
- 五十嵐 理紗(4) 小池 裕子(4)
- 佐野 比奈子(4) 高橋 理紗(4)
- 筒井 亜由実(4) 東海林 瑞恵(4)
- 樋口 佳央梨(4) 渡部 摩耶(4)
- 内海 愛子(5) 小野 夏実(5)
- 蔵田 泉(5) 佐藤 敦子(5)
- 佐藤 麻衣(5) 中村 藍莉(5)
- 安部 かすみ(6) 伊藤 瑞季(6)
- 北見 秋奈(6) 後藤 香美(6)
- 高橋 ひとみ(6) 安部 恭平(7)
- 伊藤 将太(7) 菊地 祥子(7)
- 中嶋 澄乃(7) 長谷川 成美(7)
- 松野 京子(7)

特別教育活動(功労賞)

- ◆陸上競技部
 - 安達 豊(1)
 - 外山 博規(2)
- ◆スキー部
 - 佐藤 香澄(3)
 - 鳥貫 蓮(3)

特別教育活動(優秀賞)

- ◆陸上競技部
 - 羽賀 正貴(2) 齋藤 綾香(3)
 - 羽田 美穂(4) 高橋 ひとみ(6)
 - 渡部 茜(6) 伊藤 将太(7)
- ◆テニス部
 - 近野 桃子(3) 小野 聖佳(4)
- ◆野球部
 - 齋藤 哲(1) 鈴木 祥平(1)
 - 加藤 健斗(1) 遠藤 康太(1)
 - 川合 祐輔(1) 武内 翔平(1)
 - 佐藤 隼(1) 羽田 圭介(1)
 - 下田 健太(1) 福嶋 孝介(1)
 - 志摩 健太郎(1) 湖山 峻(1)
 - 高橋 亮(2)

卓球部

- 情野 裕作(2) 奥村 佳奈(4)
- 齋藤 美久(6)

体操部

- 黒田 悠介(7)

美術部

- 青木 みのり(4)

文芸部

- 高橋 諒(7)

吹奏楽部

- 井上 愛莉(3) 栗林 美緒(3)
- 坂野 葵(3) 佐藤 なつみ(3)
- 鈴木 菜穂(3) 堤 絢(3)
- 横尾 歩(3) 須貝 沙織(4)
- 高橋 理紗(4) 東海林 瑞恵(4)
- 湯村 花恋(4) 安孫子 里香(7)

生徒会

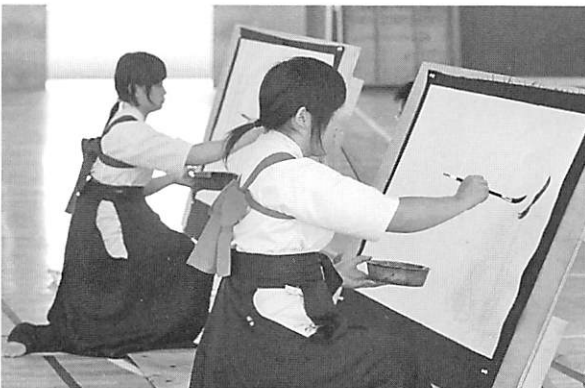
- 神田 倫(1) 鈴木 一史(1)
- 矢木 慎乃亮(1) 小口 友理恵(3)
- 坂 知枝美(3) 進藤 早紀(3)
- 堤 絢(3) 手塚 亜由美(3)
- 山下 彩(3) 石川 史菜(4)
- 遠藤 理美(4) 佐野 比奈子(4)

保健厚生委員会

- 須貝 沙織(4) 佐藤 恵美(6)

図書委員会

- 戸田 裕介(2) 野部 千夏(4)
- 佐久間 美里(5) 中村 藍莉(5)



特別教育活動〈努力賞〉

◆男子バスケットボール部

伊藤 貴紘(1) 須貝 龍介(1)
森谷 奈都美(5)

◆女子バスケットボール部

小口 友理恵(3) 佐野 比奈子(4)

◆バレーボール部

清野 ちさと(3) 平 千尋(4)
渡部 摩耶(4) 伊藤 瑞季(6)
佐藤 絢香(6) 山崎 朋美(6)

◆テニス部

色 摩 貴大(1) 小口 雄平(1)
鈴木 拓真(2) 鈴木 瞭(2)
高橋 統也(2) 長岡 真己(2)

◆ソフトボール部

手塚 優衣(5)

◆弓道部

寒河江 眞樹(4) 真木 玲依那(4)
上津原 俊貢(7)

◆バドミントン部

雨田 佳穂(3) 後藤 璃帆(3)
山下 彩(3) 後藤 香朱美(6)
色 摩 友佳(7)

◆体操部

小池 裕子(4) 伊藤 祥希(5)

◆サッカー部

茅田野 洋介(1) 木口 浩輔(2)
安部 恭平(7)

◆ダンス部

菊地 道世(3) 齋藤 花奈(4)
樋口 佳央梨(4) 安部 かすみ(6)

◆JRC部

佐藤 恵美(6) 黒澤 めぐみ(4)
吉池 彩加(4)

◆生活科学部

渡辺 美智(4) 五十嵐 理紗(4)
高田 舞(4) 中嶋 澄乃(7)

◆演劇部

後藤 亜希(3) 戸田 裕介(2)
奥山 由真(5)

◆PC愛好会

大河原 明美(4)

◆茶道部

栗木 聡美(3) 進藤 早紀(3)

ダンス部

優秀団体賞

三年間皆勤賞

安達 豊(1) 佐藤 隼(1)
色 摩 貴大(1) 羽田 圭介(1)
栗木 聡美(3) 栗林 美緒(3)
佐藤 なつみ(3) 寒河江 眞樹(4)
真木 玲依那(4) 湯村 花恋(4)
伊藤 瑞季(6) 後藤 香朱美(6)
渡部 茜(6) 安孫子 里香(7)

一年間皆勤賞

伊藤 貴紘(1) 遠藤 康太(1)
神田 倫(1) 鈴木 一史(1)
武内 翔平(1) 茅田野 洋介(1)
鈴木 瞭(2) 高橋 統也(2)
立屋 紀陽(2) 後藤 璃帆(3)
近野 桃子(3) 五十嵐 理紗(4)
遠藤 理美(4) 大河原 明美(4)
小野 聖佳(4) 黒澤 めぐみ(4)
小池 裕子(4) 齋藤 花奈(4)
高橋 理紗(4) 東海林 瑞恵(4)
三ヶ山 理恵(4) 吉池 彩加(4)
渡部 摩耶(4) 伊藤 祥希(5)
小形 友美(5) 蔵田 泉(5)
佐藤 敦子(5) 佐藤 麻衣(5)
鶴巻 由美(5) 北見 秋奈(6)
高橋 ひとみ(6) 竹田 麻衣(6)
我妻 朋美(6) 上津原 俊貢(7)
小林 千夏(7) 長谷川 成美(7)
山下 彩(3)

読書感想文優秀賞

鈴木 祥平(1) 鈴木 菜穂(3)
山崎 朋美(6) 高橋 諒(7)
中嶋 澄乃(7)



平成二十二年 進路状況について

進路指導課長 熊澤 広 二

今年度の進路希望は、進学が六八%就職三二%、と昨年に比べて進学の割合が六%増加しています。

大学・短大進学は、全体の三分の一を占め、分野は文系が七割、理系が二割となっております。入試方法では、AOや推薦は指定校も含め例年通りの希望者でしたが、プログレスコースを中心に多くの生徒がセンター試験に臨み、国公立大を目指す一般入試受験者も多くなっています。このため卒業式後の大学合格決定者も増えることが確実で、年度末までのきめ細かい進路指導が必要になってきています。

専修学校進学は、全体の三割を占め、分野は、医療看護や衛生(調理・美容) 社会福祉、商業実務などの希望者が例年通り多くなっています。専門学校への進学は、将来の職業をしっかりと定め、学校見学を必ず行って間違いのない学校選択ができることを指導の中心に置いています。

就職は、周知のとおり求人が大幅

に減少し、就職を希望する生徒はとてども厳しい状況でした。県内は、生産工程をはじめ、どの職種も厳しく求人が半減しましたが、県外では、本校との信頼関係が厚い企業から例年並みに求人頂くことができました。このような厳しい環境の中でも本校生徒は就職活動に熱心に励み、例年通りの成果を達成できました。

進学、就職とも、生徒の皆さんの進路実現への真剣な取組みと保護者の皆様のご支援に深く感謝しております。いずれの進路においても、三年になってからの準備や努力だけでは、満足な結果は得られません。一、二年次からしっかりと自分の将来を考え、明確な目標を持って進路実現のための準備に入ることが大切です。

編集後記

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。九里での学園生活を終えて、四月からは、それぞれの道を進んでいくわけですね。振り返るとつらい事や楽しいこと、厳しかったことや満足感を得たことなど、いろいろありますが、ドラマのようにみがかってくるとはありませぬ。

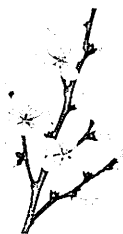
現在という視点から過去を振り返るのは、様々な思いを、未来に生かそうとする事なのかもしれないですね。

また、高校生活で得た友情と信頼はかけがえのない財産になる事でしょう。

学園通信の編集作業は、多くの広報委員のご協力を頂きました。そして何よりも、

生徒諸君 保護者の皆様 先生方多くの方々を支えられて成り立って来ました。心からお礼申し上げます。

(寒河江一紀)



◆H21年度卒業生の進路別状況◆

平成22年2月5日現在

	就職希望者			進学希望者				家事その他	合計
	県内	県外	小計	大学	短大	専修各種	小計		
男子	11	8	19	27	1	17	45	1	65
女子	15	25	40	24	14	45	83	16	139
合計	26	33	59	51	15	62	128	17	204

◆就職関係(内定状況)◆

	県内希望				県外希望				合計			
	学校幹校	学校幹校内定者	緑故	緑故内定者	学校幹校	学校幹校内定者	緑故	緑故内定者	学校幹校	学校幹校内定者	緑故	緑故内定者
男子	4	4	7	7	6	6	2	2	10	10	9	9
女子	12	12	3	3	25	25	0	0	37	37	3	3
合計	16	16	10	10	31	31	2	2	47	47	12	12
内定率%	100%				100%				100%			

◆進学関係(合格状況)◆

	大 学		短 大		専 修 各 種		合 計	
	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数
男子	27	22	1	1	17	15	45	38
女子	24	15	14	11	45	42	83	68
合計	51	37	15	12	62	57	128	106
合格率%	73%		80%		92%		83%	